瞬快(Ver.11.5) 修復対象外領域の設定方法

(1)フォルダ・ファイルの修復対象外設定方法

【手順】

- ①瞬快環境設定画面を起動する
 - ・タスクトレイから、瞬快アイコンを右クリックし
 - 「基本機能を使用する」→「環境設定を行う」を選択する。
 - ・パスワード入力画面が表示されるので、パスワードを入力し、「OK」ボタンを押下後、 瞬快環境設定画面が表示される。

②瞬快を修復無効モードにする

瞬快が修復モードで動作している場合は、修復無効モードに変更する

「次回起動時の動作モード」を「修復無効モード」に変更する。(赤枠を押下する)

回認約時の創作モード ・ 「御賀を一ド(れ) 「「理想約モード(れ)」「元報報を無知にするモードです。ソフ ななかの追加では変更などをするときに使用します。 まり念・対象外結定 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	非表示になっている設定項目 を表示させる ファイル名 〇 1000 to 200 0 1000 to 400
該対象・対象外設定 □	ファイル名 ダ ① bfsvcaxe ダ ② bootstardat
A Program Files A Program Files A Program Files A Program Files A Program Data A Pr	Ordenstallog polarerexe polarerexe hoxe
	Program Files (x88) Program Files (x88)

・「OK」ボタン押下後、OSが再起動される。

- ③再度、瞬快環境設定画面を起動する 手順①と同様。
- ④フォルダ・ファイルの修復対象外を指定する

[瞬快環境設定画面]



フォルダ選択領域: 瞬間復元の対象外にしたいフォルダのチェックボックスをはずします。

ファイル選択領域: 選択したフォルダ配下にファイルがある場合、ファイルが表示されます。 瞬間復元対象外にしたいファイルのチェックボックスをはずします。

⑤修復モードに変更する

- ・「次回起動時の動作モード」を「修復モード」に変更する。(赤枠を押下する)
- ・「OK」ボタン押下後、OSが再起動される。

(2)レジストリの修復対象外設定方法

手順

- ①修復対象外としたいレジストリパスを記述した「定義ファイル」を準備する
 - ・メモ帳で次のファイルを作成する。(メモ帳以外のテキストエディタでも可)
 - ・修復対象外としたいレジストリパス を[REGKEY] セクションのREGKEYx キーに記述する 保存ファイル名: MOUT USER.ini



- ※メモ帳を利用するときは文字コードにUnicodeを指定してください。 メモ帳以外のテキストエディタ使用時は、文字コードにBOM(Byte Order Mark) 付きのLE(little endian)のUTF-16を指定してください。
- ②瞬快環境設定画面を起動する
 - (1)フォルダ・ファイルの修復対象外設定方法 手順①と同様。
- ③瞬快を修復無効モードにする
 - (1)フォルダ・ファイルの修復対象外設定方法 手順②と同様。
- ④ ①で作成した「定義ファイル」を所定のフォルダに配置する
 ・「定義ファイル」を瞬快クライアントイン ストール先のEnv フォルダにコピーする デフォルトのインストールフォルダ:
 C: ¥ Program Files ¥ Syunkai Product ¥ Agent ¥ Env

⑤修復モードに変更する

(1)フォルダ・ファイルの修復対象外設定方法 手順⑤と同様。

以上